

2017年9月号

9月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 252



澄み渡る風と実りの季節…

釧路湿原には涼やかな風が吹き、ウメバチソウが咲き始めました。いよいよ今年も花の季節が終わりを迎えようとしています。

花が終わると、湿原やその周辺では植物の実が目立ち始め、秋の虫の声もよく聞こえてくるようになります。美しい花だけではない釧路湿原の魅力を再発見することができる時期が同時にやってくるのです。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



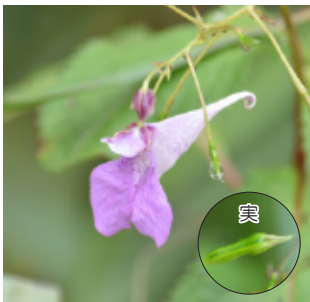
～温根内探勝木道周辺の自然～



【ウメバチソウ】
 ニシキギ科 梅鉢草
 夏場に山地で見かけますが、ここでは秋に咲きます。虫眼鏡で見ると、美しい花の造形に吸い寄せられそうになります。



【エソリンドウ】
 リンドウ科 蝦夷竜胆
 こちらも亜高山の植物で、ハンノキやヨシの陰にひっそりと咲いています。園芸用に品種改良したものが花屋さんで売られています。



【ツリフネソウ】
 ツリフネソウ科 釣舟草
 くるりと巻いた距と呼ばれるところに蜜をためて、奥まで昆虫をおびき寄せる戦略を取っています。膨らんだ実をつまんでみると…?



【コガネギク】
 キク科 黄金菊
 ミヤマアキノキリンソウとも。ミスゴケ湿原で咲く、シーズン最後の花です。大きさや形には変異があり、鶴居軌道跡にも咲きます。



【オオバセンキュウ】
 セリ科 大葉川弓
 温根内のセリ科のうち、最後に花を咲かせる種です。セリ科の花は見分けがあるので、慣れない方はVC職員に聞いてください。



【キアゲハ(幼虫)】
 アゲハチョウ科
 成虫もよく見られた今シーズン。幼虫はセリ科の葉を好んで食べています。終齢幼虫になると、かなり見ごたえのある大きさに。

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内周辺ではカラ類やほかの種が混群を作り、早くも冬への準備を整えているようで、森の中にはわかに騒がしくなっています。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。



【カワセミ】 夏鳥
カワセミ科 翡翠
右岸堤防の側溝で見かけました。温根内周辺では珍しく、餌となる魚を探していたのだと思います。名前の通りの翡翠色が見事。



【オオジュリン（幼鳥）】
夏鳥 ホオジロ科 大寿林
ヨシの草むらに隠れて、時折木道にも現れます。無事育った雛たちも、そろそろ南へと旅立っていく時期です。



【メジロ】 夏鳥
メジロ科 目白
カラ類の混群に紛れていました。国内で最も親しまれてきた野鳥の一種。白いアイリングが特徴で、英名も Japanese White-eye.



【エナガ】 留鳥
エナガ科 柄長
鶴居軌道跡の林などで見られます。チョコチョコと枝を飛び移るので、このようなおどけたような写真が偶然撮れる時があります。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（8月15日～9月14日）※和名は五十音順

■アカザ■アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イケマ■イシミカワ■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■イワアカバナ■ウスベニツメクサ■ウド■ウマノミツバ■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾタチカタバミ■エゾトリカブト■エゾナミキ■エゾノコギリソウ■エゾノミツモトソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオイヌタデ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■カラフトノダイオウ■キオン■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クマバナ■ゲンノショウコ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキツル■コシカギク■コハコベ■コメツブツメクサ■サラシナショウマ■サワギキョウ■シオガマギク■シロザ■シロツメクサ■シロネ■スカシタゴボウ■セイヨウタンポポ■セイヨウノコギリソウ■セリ■ダイコンソウ■タニソバ■チシマオドリコソウ■チドリケマン■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウマゼリ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ナズナ■ナンバンハコベ■ヌスビトハギ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン■ヒメナミキ■ヒロハヒルガオ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■ミズ■ミソガワソウ■ミソソバ■ミチヤナギ■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミヤマブタバコ■ムシトリナデシコ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤナギタンポポ■ヤブジラミ■ヤマハギ■ヤマハハコ■ヨシ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（8月15日～9月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■オオジシギ■トビ■オオタカ■ノスリ■カワセミ■ヤマセミ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■メジロ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニューナイスズメ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ トピック キリギリスの秋 ☆☆☆☆

「サ、ジリジリリ〜・・・」 スゲの草むらから、さかんに鳴くキリギリスの音が聞こえます。これは、ハネナガキリギリスのオスが求愛のため翅をこすり合わせて奏でている音です。この音色を聞くと、いよいよ湿原に秋がやってくるのを実感します。さて、子孫を残すため求愛するオスも必死ですが、メスも必死です。右の写真は、木道の隙間



にはまって抜け出せない…わけではなく、実は産卵しているメスの姿です。この板と板の絶妙な間隔がちょうど良い具合のようで、産卵管をこの隙間に入れて卵を産むのです。天気の良い日は、ここぞとばかりに木道にそろそろと出てきて産卵する姿が見られる時もあります。知る人ぞ知る温根内の秋の「風物詩」ですが、気づかずに歩いていると踏んづけてしまいそうになります。散策中は秋の音色を楽しむと同時に、どうぞお足もとにご注意を。(藤原伸也)

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆

※【お詫び】前号で「ホタルの週末」の開催報告を掲載し忘れておりました。お詫び申し上げます、ここに報告させていただきます。



○「ホタルの週末」7月22、23日 参加者：133名(2日間合計)
恒例のヘイケボタルの観察会を2日間にわたり行いました。観察の前にホタルの生態や文化的背景などについて、杉山伸一氏(VR,22日)と若山公一氏(VR,23日)に解説いただきました。お二人からは雌雄の光り方の違いや他のホタルとの比較などについても教えていただきました。ホタルの確認数は例年よりも多く、木道の至る所で参加者からの歓声が聞かれました。木道に現れるホタルを実際に手に取って間近で観察することもでき、それぞれにホタル観賞と夜の湿原を楽しめた様子でした。



○「秋の花を見に行こう」9月10日(日) 参加者：10名
湿原の最後の花の季節を鑑賞する観察会を行いました。講師は植物の専門家である高嶋氏にお願いしました。高嶋氏からは、この時期ミゾソバやアキノウナギツカミといったタデ科の植物の蕾に見えるものが、実は花が閉じた後の「実」である場合があることや、見頃を迎えたウメバチソウの名前の由来と虫をおびき寄せる戦略など、多岐にわたり教えていただきました。鈴なりに実をつけたゴキツルは好評で、まさに「器を合わせ」たようなその形に一同見入っていました。後半は晴れ間もあり、気持ちよく木道散策と植物観察を堪能できました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内(10月)☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～

〔日時〕10月15日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を勉強した後、その生息環境を観察するとともに、実際にニホンザリガニを探しに行きます。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪晩秋の湿原 野鳥観察会

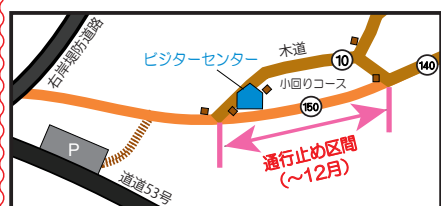
〔日時〕10月29日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔集合場所〕憩の家かや沼駐車場

～通行止めのお知らせ～

追加工事の関係で、9/16から12月まで下記の小回りの区間(No.141～155)が通行止めとなります。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



月刊 温根内通信 No.252

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料